

会社名 ステラファーマ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 上原 幸樹
 (コード番号：4888 グロース)
 問合せ先 総務部長代行 仲谷 悟
 (TEL. 06-4707-1516)

当社は、学校法人藤田学園(理事長:星長清隆、本部:愛知県豊明市、以下「藤田学園」)、Atransen Pharma株式会社(代表取締役CEO:浅野智之、本社:大阪府大阪市、以下「アトランセンファーマ」)、住友重機械工業株式会社(代表取締役社長:下村真司、本社:東京都品川区、以下「住友重機械工業」)、株式会社フジタ(代表取締役社長:奥村洋治、本社:東京都渋谷区、以下「フジタ」)とホウ素中性子捕捉療法(以下「BNCT」)による深部腫瘍治療の研究開発を推進するための覚書を締結したことをお知らせいたします。

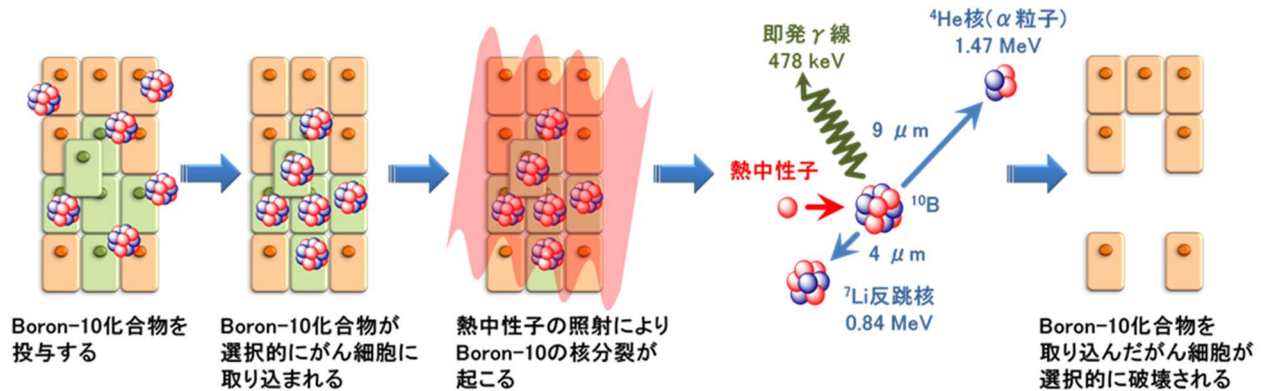
本覚書は、藤田学園が運営している藤田医科大学と四社が持つ専門技術と知識を共有することで、今までのBNCTが抱えていた課題を解決し、より深い部分にある腫瘍への適応を目指し研究開発を推進することをもって、がん治療の可能性を広げることを目指すことを目的としています。

組 織 名	役 割
当社	BNCT用薬剤の開発と製造において持つ医薬品研究開発の知識と経験を提供
藤田学園 (藤田医科大学)	効果的ながん治療を追求する医療機関としての臨床研究実績を踏まえ高度な専門性を持つ人材を提供
アトランセンファーマ	がん細胞内のBNCT用薬剤濃度を維持する技術の開発と提供
住友重機械工業	BNCT装置の開発と製造において持つ豊富な経験を基に最先端の技術を提供
フジタ	病院建設の豊富な実績に加え、BNCT装置に適した低放射化コンクリートを用いた建屋を建設

以上

【BNCT(Boron Neutron Capture Therapy:ホウ素中性子捕捉療法)について】

BNCTとは放射線治療の一種であり、ホウ素を含む医薬品と放射線の一種である中性子照射を組み合わせ、体へのダメージが小さく、高い治療効果が期待される新しいがん治療法です。



患者様にホウ素薬剤を投与すると、ホウ素 (^{10}B) ががん細胞に集まります。その後、患部に体外から中性子線を照射します。照射する中性子線は非常にエネルギーが小さく、人体への影響はほとんどありませんが、ホウ素 (^{10}B) とぶつかると核反応を起こし、放射線 (アルファ線と ^7Li 核) が発生します。

BNCTは、この放射線によってがん細胞を選択的に破壊する治療法です。

また、原則1回の中性子線の照射で治療が完了し、身体への負担が少ない治療法として期待されています。